

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 長門市の西部に位置し、平坦な地形でほ場整備が進んでいる比較的営農の条件に恵まれた地域
- 高齢化に伴う担い手不足が深刻となっていることから、核となる担い手組織へ農地を集積し、永続的な生産体制の構築を図る必要がある地区

【支援内容・背景】

- 当地区は農業就業者の高齢化等によるリタイアが増加し、農業の担い手不足が深刻となっていることから、核となる担い手組織への農地集積に取り組むとともに、生産体制の構築を図るため生産性や収益性の向上に向けて支援する必要がある。
- 助成対象者は農地集積に伴う経営規模拡大に向けて、ほ場の団地化や農作業の効率化を進めており、地区の大規模経営のモデルとして支援。



助成対象者「(農)河原」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成3年～8年 ほ場整備
- 平成5年 河原営農改善組合設立
- 平成13年 法人設立準備協議会 発足
- 平成14年 法人化 経営改善計画の認定
- 平成15年 法人経営開始

《事業活用の背景》

○ 地区の農地集積や生産体制の構築に向けて経営規模拡大を図るため、大豆の管理作業や収穫作業の効率化に資する高性能農業機械を導入した。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 24百万円
- 経営面積 44.6ha

《事業による整備内容》

- 乗用管理機 1台
事業費 5,400千円
(国費 1,500千円)
- コンバイン(大豆) 1台
事業費 6,588千円
(国費 1,500千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 売上高 41百万円 (171%)
- 経営面積 45.8ha (102%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化により経営規模拡大や農地の集積が図られ、売上高の増加が実現。

《地区》 農業就業者の離農や規模縮小の農地について、核となる法人等担い手組織への農地を集積し、永続的な生産体制の構築を実現。また、集落営農法人連合体との連携により、遊休農地化が防止されている。